

令和5年度
わかりやすい
当初予算参考資料

夢に乗るまち

牧之原



もくじ

◆令和5年度の予算を見よう

予算は3種類あるよ	・・・	1
収入と支出の内訳は	・・・	2、3
市民1人あたりにすると	・・・	4
家計に例えると	・・・	5
主要な事業は	・・・	6 ~ 13
市の貯金と借金は	・・・	14、15
貯金と借金の目標額は	・・・	16

予算は

目的などに応じて3種類あるよ



企業会計

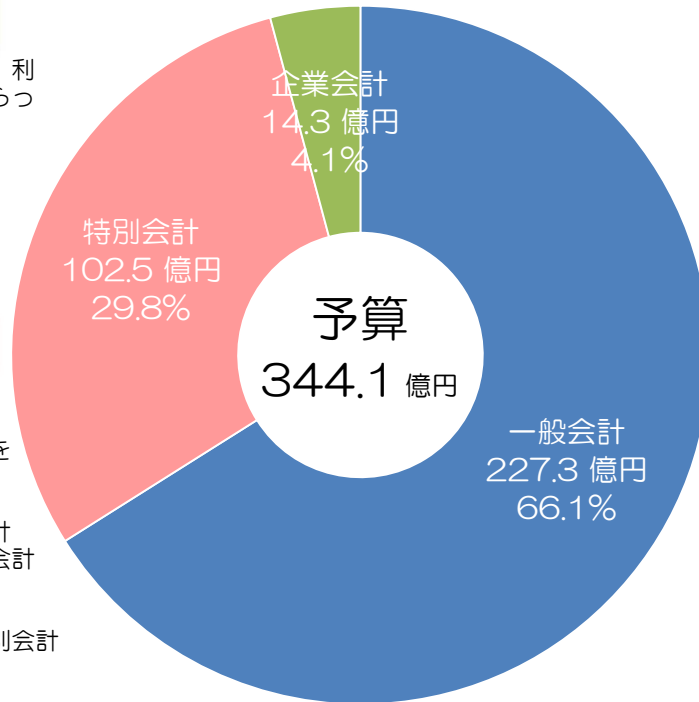
民間企業と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行う会計です。

- 水道事業会計

特別会計

特定の収入があるため、独立した予算で収支を明確にし、特定な事業を行う会計です。

- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 土地取得特別会計
- 農業集落排水事業特別会計



一般会計

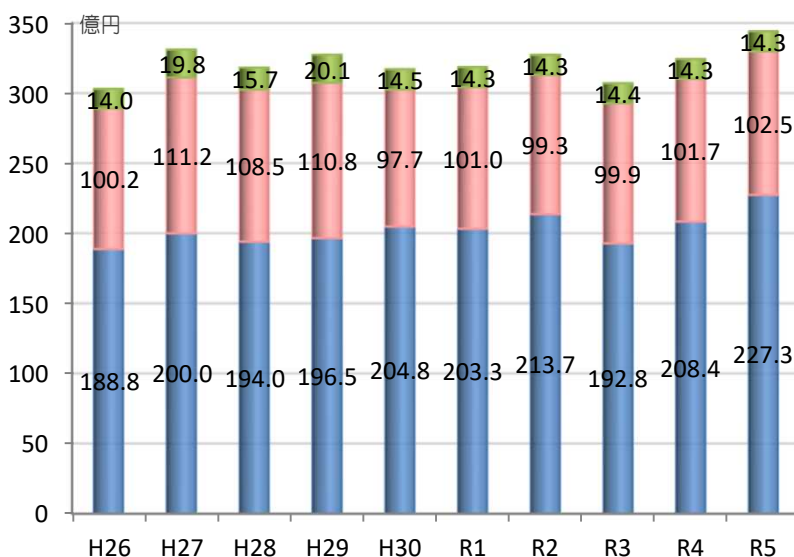
福祉、教育、道路の整備・補修など、市の基本的な事業を行う会計です。主に、市税や地方交付税などで賄われています。

- 一般会計



意次くん

予算の推移



予算規模が増加傾向になっています。

一般会計は、東日本大震災以降、津波避難タワーや防災公園などを整備してきたことが要因となります。

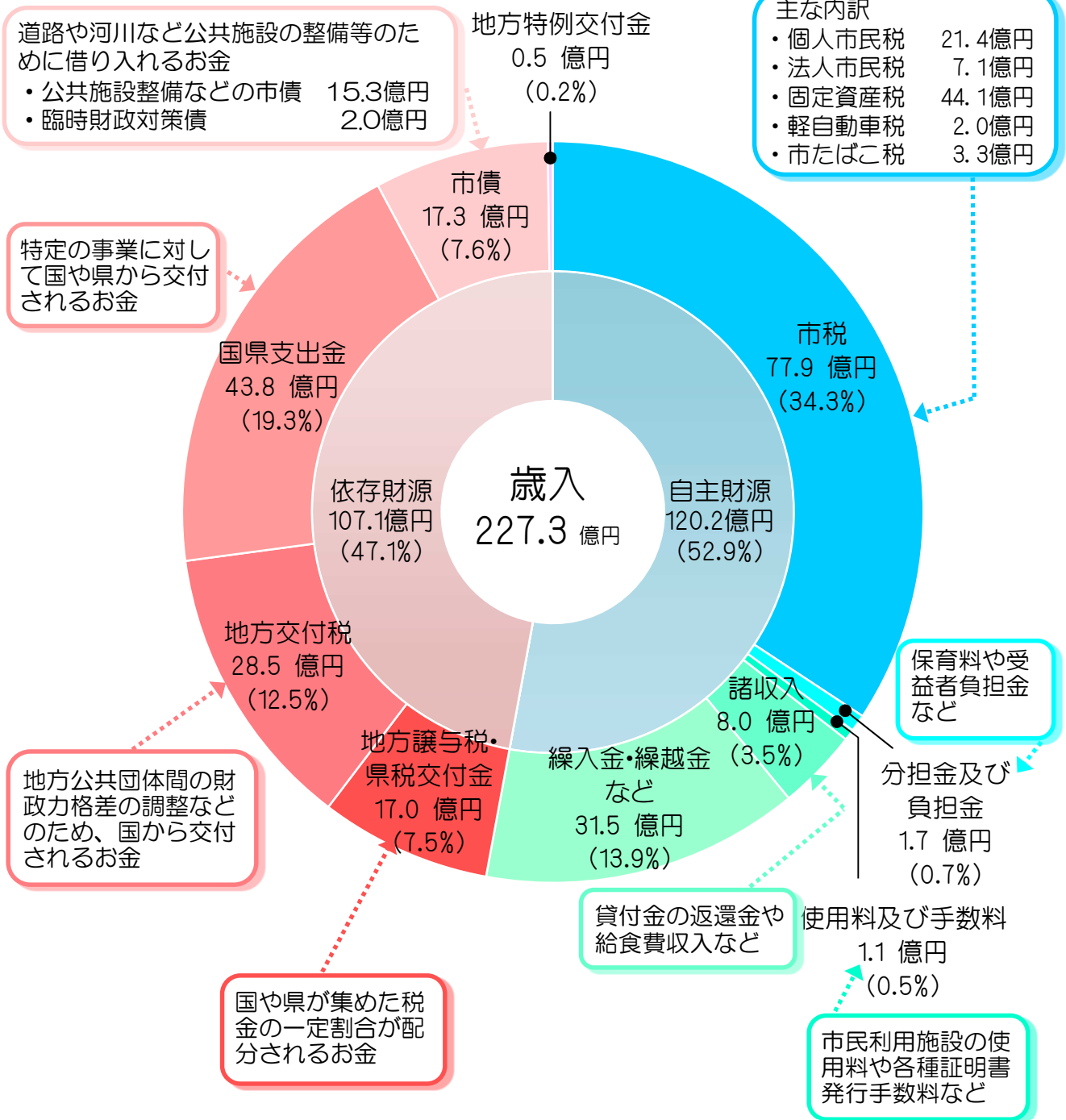
特別会計は、保険事業の制度改正などにより増減しています。

企業会計の水道事業は、配水池整備などの大規模事業の実施時に大幅な伸びとなっています。

令和5年度 予算を見てみよう

一般会計

歳入（収入）



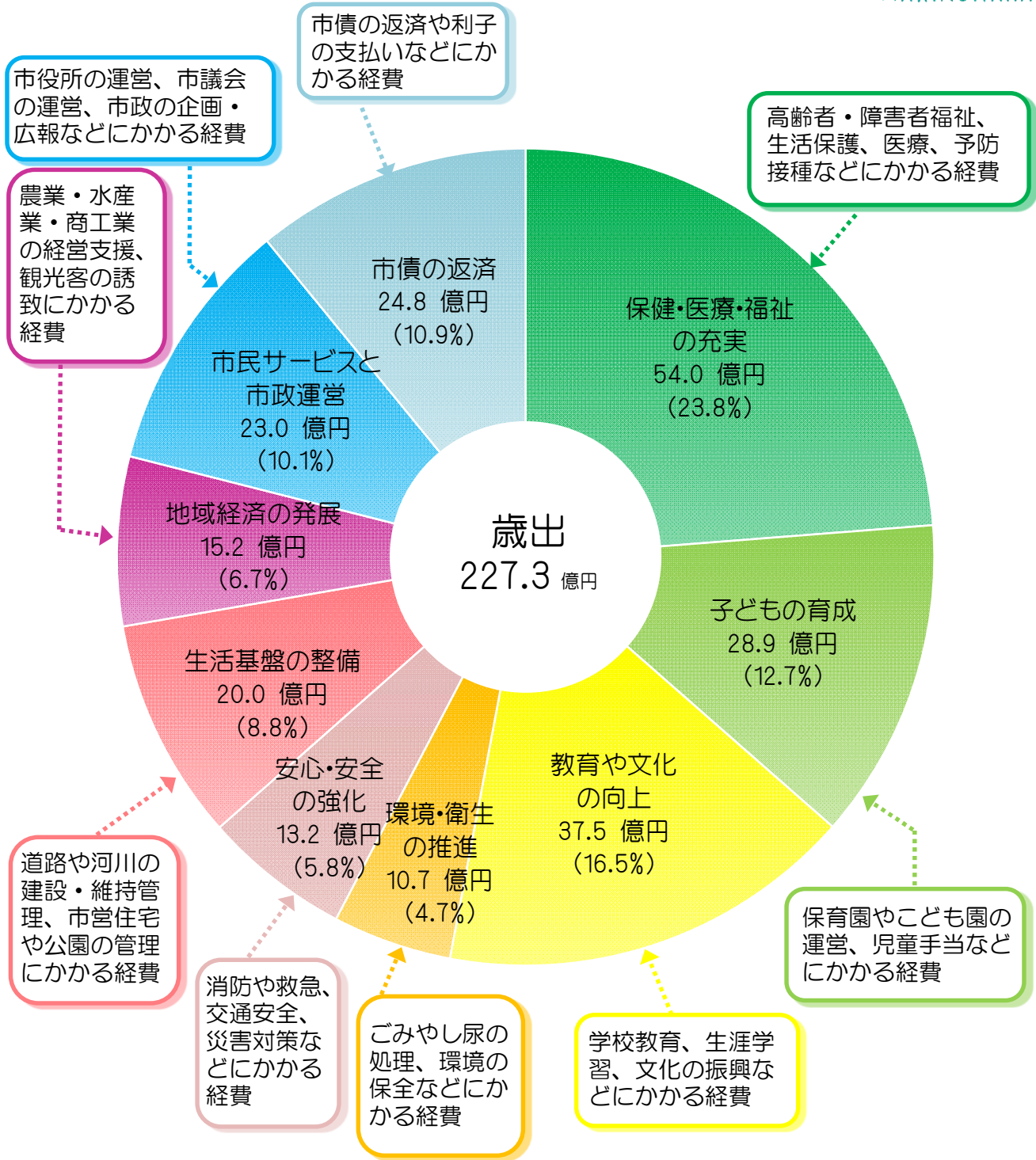
市債

市の施設は将来にわたって長期間使われるため、その整備費については今の市民だけでなく、将来の市民にも公平に負担してもらおうという考えで市債を活用しています。しかし、借り入れに際しては、実質公債費比率の増加を抑えるため、交付税算入がある有利な起債を選択して借り入れを行っています。

また、このほか標準的な行政サービスを維持するため、国が交付税として交付できない分を地方公共団体が肩代わりする臨時財政対策債も借り入れています。

※ 端数処理のため合計値が一致しない場合があります。(以下同様)

歳出（支出）



予算の3分の1以上が、高齢者や障害者、生活困窮者などへの支援、医療や介護の保険事業、予防接種、保育園やこども園、放課後児童クラブの運営、こども医療費助成、児童手当などの社会保障経費に使われています。
 また、過去に整備した道路や学校をはじめとした公共施設などは借金をして事業を行っています。毎年、予算の約1割を返済に充てています。

市民1人あたりに換算すると

一般会計

※ 令和5年1月1日現在人口 43,497 人(外国人含む)

予算を市民1人あたりに換算すると、52万2,600円になります。医療や福祉、教育、道路の整備・補修など、様々な市民サービスに使われています。



保健・医療・福祉の充実

124,300円

子どもの育成

66,400円

教育・文化の向上

86,300円

環境・衛生の推進

24,700円

安心・安全の強化

30,400円

生活基盤の整備

45,900円

地域経済の発展

34,800円

市民サービスと市政運営

52,900円

市債の返済

56,900円

牧之原市の1年間の収入と支出を家計簿にあてはめて説明します。

令和5年度の予算を年収500万円（月収41万6,700円）の家計に置き換えてみました。



意次くん

1か月の家計簿

< 収入 >

給与	41万6,700円
（基本給（市税）	23万2,800円
（諸手当（譲与税・交付金など）	18万3,900円
家賃収入（使用料・手数料など）	8,400円
親からの支援（国・県支出金）	13万 800円
貯金の取り崩し（繰入金）	7万1,400円
銀行からの借入（市債）	5万1,800円
計	67万9,100円

< 支出 >

食費（人件費）	9万6,700円
医療費（扶助費）	10万6,500円
ローンの返済（公債費）	7万4,000円
車の購入、家の増改築費 （投資的経費・維持補修費）	14万7,700円
友人への支援金 （補助費等・投資・出資金）	7万4,600円
子どもへの仕送り （一部事務組合負担金・繰出金）	9万6,700円
光熱費など（物件費など）	8万2,900円
計	67万9,100円

支出は、車の購入や家の増改築を行うため、大幅に増加しています。節約が難しい食費や医療費を可能な限り切り詰めて、さらに、子どもへの仕送りや光熱費なども極力抑えて生活しています。

収入は、景気回復が見込まれることから基本給が増額となっています。家の増改築に係る費用が増加したため、銀行からの借入は大きく伸びています。

今後、維持修繕費の伸びが予想されているため、必要最低限の支出にするなど、抜本的な生活習慣の見直しが必要になってきています。

牧之原市の主要な事業は？

若者が住み続けられる持続性のあるまちづくりに向けて、様々な事業を行っていますが、戦略的な観点から5つのプロジェクト事業を重点施策に位置付け取り組んでいます。

富士山型ネットワークの充実



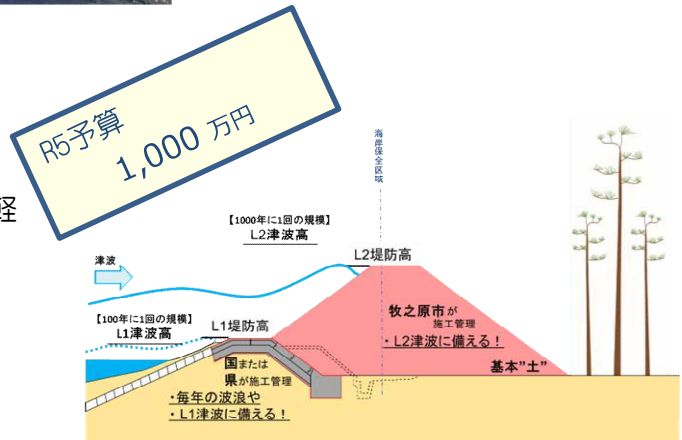
沿岸部・高台それぞれの立地環境や地域資源の利点を活かした「コンパクトで独自性あるエリア」を拠点に、魅力あるサービスやライフスタイルを創出します。また、各エリアを効果的にネットワークでつなぎ、機能連携や役割分担による相乗効果を通じて、市全体の総合発展と定住を促進します。

◎海岸防潮堤（レベル2）整備事業

想定される最大規模の地震津波による被害を軽減するためのL2津波堤防を整備します。

◆駿河海岸（榛原工区）

全長 約800mを3か年で整備



出所：駿河海岸における海岸保全のあり方（H2T.8）駿河海岸整備検討会

◎放射線防護施設整備事業

P A Z圏内の要配慮者等の原子力災害時における一時避難施設として、現在、建設中の多目的体育館内にエアシェルターを整備します。

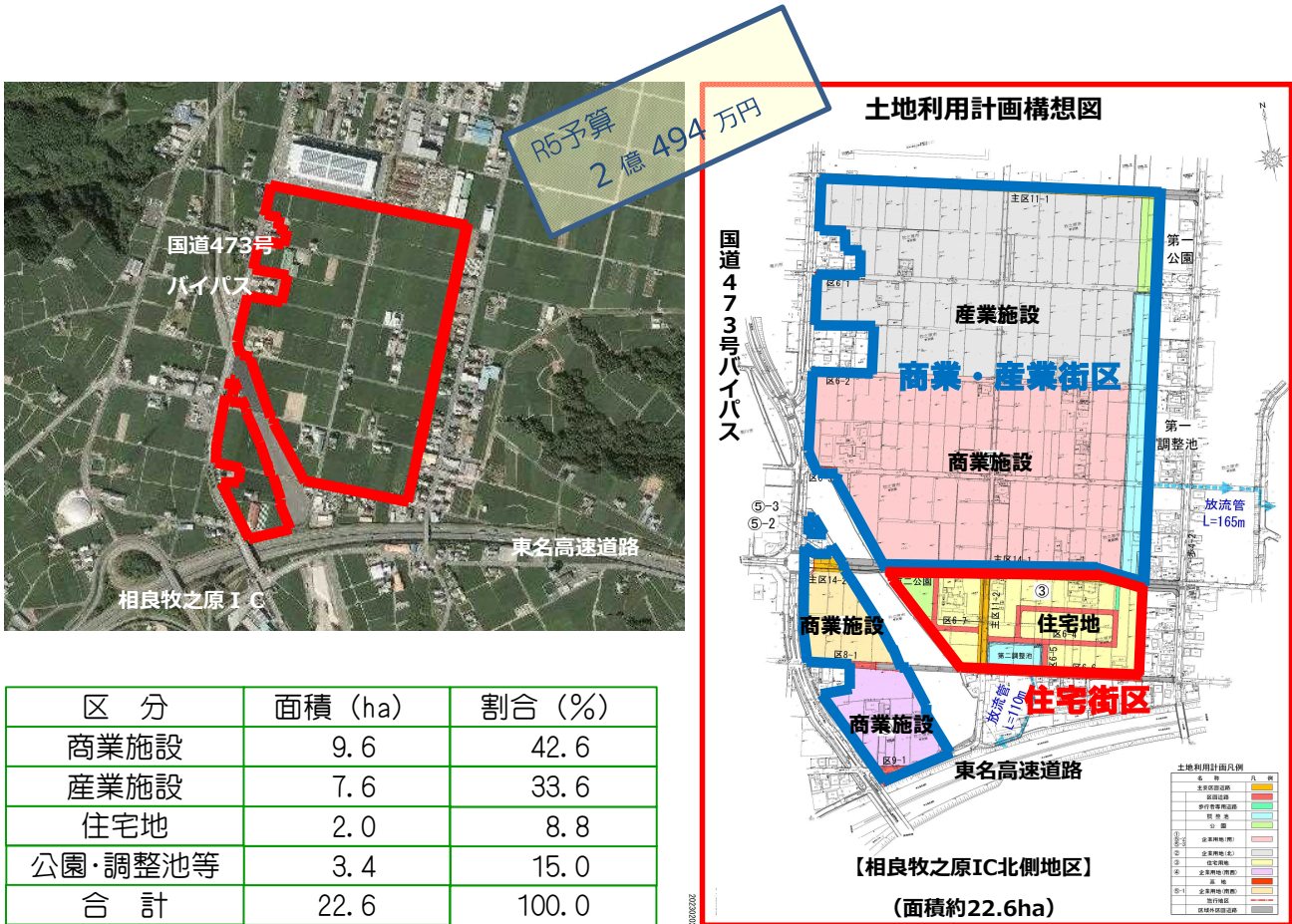


R5予算
2億2,400万円



◎新拠点開発推進事業

東名高速道路相良牧之原IC北側地区の複合的な用途による開発を推進し、市内全体に効果を及ぼす、個性あふれ、成長の基盤と魅力的な住環境を備えた新たな拠点を整備します。



◎グラウンド芝生化事業

グラウンドの芝生化を推進し、施設利用者の安全性や利便性の向上を図るとともに、スポーツ合宿などを誘致し、地域経済の活性化に取り組みます。

- ◆相良総合グラウンドの芝生化
グラウンドの半面分を施工
施工面積 11,893㎡
2か年で整備



◎道の駅(仮)さかべ整備事業

広域交流拠点である富士山静岡空港と近接する坂部区において、地域振興施設及び休憩施設、情報発信施設で構成される道の駅を整備します。

駐車場、トイレ、情報提供施設、休憩施設
※道路管理者又は市町村等で整備

地域振興施設
(農産物直販施設、飲食スペースなど)
※市町村等が整備



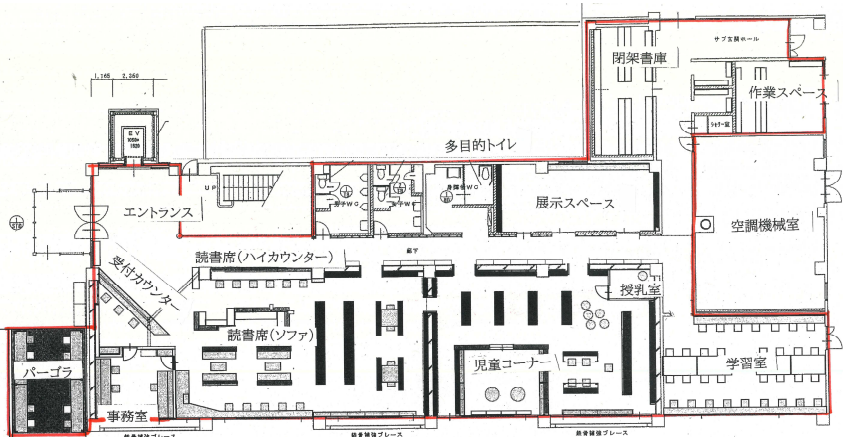
R5予算
2億4,720万円

- 農業を中心とした持続可能な仕組みづくり
- 交流人口拡大の拠点づくり
- 食と自然から健康拠点づくり

◎榛原図書館機能拡充リノベーション事業

図書館機能の拡充のため、榛原図書館の施設環境を改善し、蔵書数の増加や児童コーナーの設置など新しい機能を取り入れたリノベーション工事を実施します。

R5予算
1億1,241万円



◎沿岸部活性化事業



静波海岸周辺地域における、大規模人工造波施設「静波サーフスタジアム」の整備を契機として、サーフィンを中心に人を呼び込み、沿岸部の賑わい創出の拠点とするため、市有地の有効活用などの活性化を図ります。



- ◆サーフィンUSA代表選手の招聘・交流
- ◆サーフィン大会開催の支援
- ◆キッズサーフィンスクールの開催
- ◆小中校生サーフィン体験教室の開催
- ◆高校生サーフィンサークル活動の支援
- ◆スケートボードパーク整備の支援 など

R5予算
2,920万円



DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

従来の半分の職員数でも機能が発揮できるよう、AI・ロボティクス等を使いこなすスマート自治体への転換に向けて、デジタル化を推進します。また、進行する人口減少・少子高齢化に向けて、効率的で持続可能な行政サービスを提供するとともに、利便性向上や、魅力の発信力を強化します。



- 行政手続きのオンライン化
（マイナポータルを活用した子育て、介護、税等のワンストップサービス）
- オンラインでのイベント申込、体育施設の予約
- 窓口業務のデジタル化
（キャッシュレス導入、キオスク端末の設置、タブレット窓口案内、遠隔窓口支援システム導入）
- スマホ体験教室の開催
- LINEによる情報発信の強化

R5予算
1,843万円

◎行政サービスICT化推進事業

人口減少や社会情勢の変化に対応し、将来にわたって市が持続的に行政サービスを提供するため、AIやRPA等のデジタルツールを活用し、業務改革やDXの推進を図ります。

- ◆RPA、AI-OCR、AI議事録の利用拡大
- ◆庁内web会議システムの利用拡大
- ◆外部デジタル人材の活用 など

ゼロカーボンと経済成長の好循環の実現

温暖化への対応を経済成長制約やコストではなく、成長の機会と捉え、民間企業の主体的な取組を支援し、経済と環境の好循環による成長を通じて、持続性ある産業への転換、発展を図ります。また、産業、生活、公共サービスなどの各分野において、循環型経済の構築に向けた取り組みを進めます。

◎オーガニックまきのはら推進事業

「荒廃農地の増加抑制及び収益化」と「環境に配慮した農業」を推進するため、バイオ炭の実証実験、早生樹導入支援、複合経営支援、化学肥料の低減に向けた茶園の土壌診断・分析及び微生物検査支援を実施し、持続可能な農業の実現を目指します。



◎萩間地区工業用地造成事業

県、市、企業の3者により、事業の実現に必要な基本協定を締結し、早期の工事着手を目指します。また、開発区域外で予め整備が必要な公共施設について改修等を実施します。

スズキ株式会社相良工場を『CASEなどに対応した次世代モビリティの研究開発拠点』として再整備することを支援します。

Connected (コネクティッド)
Autonomous/Automated (自動化)
Shared (シェアリング)
Electric (電動化)

R5予算 1億1,951万円



◎資源・エネルギー利活用推進事業

令和3年1月に「ゼロカーボンシティ」宣言をし、脱炭素のまちづくりを推進しています。各家庭における温室効果ガスの排出削減を図るため、自然エネルギーの利活用や省エネ改修費などを補助します。



◆家庭用創エネ・省エネ・蓄エネ設備設置の支援

- ☞ ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の建築
- ☞ 蓄電システムの設置
- ☞ 太陽光発電システムの設置（蓄電システムと同時導入の場合）

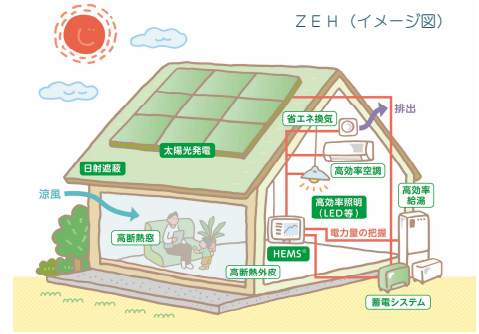
◆省エネ住宅の普及支援

- ☞ 省エネ診断
- ☞ 省エネ設計
- ☞ 省エネ改修（建て替えも含む）

◆太陽熱利用の導入支援

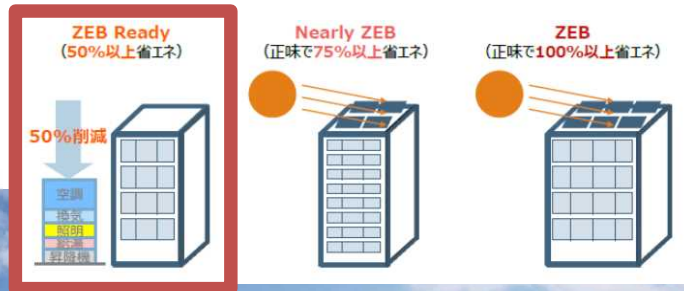
- ☞ 自然循環型太陽熱温水器
- ☞ 強制循環型太陽熱利用システム

R5予算
988万円



◎多目的体育館整備事業

牧之原市スポーツ推進計画に基づき、スポーツに限らず多目的に利用できる機能とともに、原子力災害時には放射線防護機能を有する施設としての体育館を整備します。また、エネルギー消費量50%以上の削減を図るZEB Readyの認証取得に取り組みます。



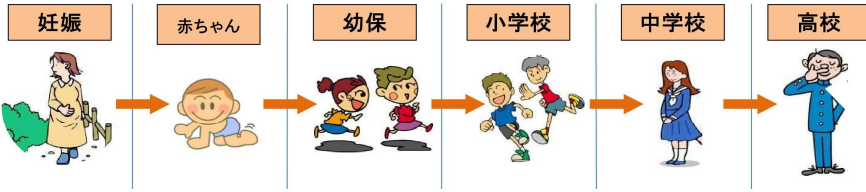
R5予算
19億7,112万円



令和6年3月 完成予定

日本一女性にやさしいまちの推進

子どもや家族と暮らす場として選ばれるよう「子育ての楽しさ」や「しやすい」環境づくり、女性の働き方などの新しいニーズに対応するため、子育てをする母親の目線での「子育て」「働き方」「保育」などのサービスの充実に取り組み、若者世代の流出抑制、定住促進に繋がります。



R5予算
19億9,510万円

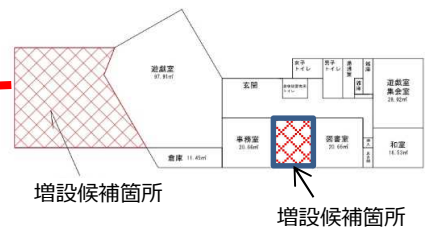
- ◆不妊治療費の助成
- ◆妊産婦通院費の助成
- ◆子ども医療費の助成
- ◆待機児童を出さない保育園・幼稚園・認定こども園、放課後児童クラブの運営
- ◆地頭方保育園と地頭方幼稚園を統合、認定こども園化
- ◆小学校入学祝金の支給（児童一人あたり3万円） など
- ◆出産・子育て応援給付金の支給
- ◆妊産婦特定疾病医療費の助成
- ◆子育て支援センターの移転整備

◎子どもの居場所支援事業

孤立や孤食、学習や生活上の困難、経済的な課題を抱える学齢期の児童を対象に放課後や夏休み等の時間に信頼できる大人や友達と安心して過ごせる居場所を整備します。



様原児童館平面配置 S=1/100



R5予算
470万円

◎公園整備事業

子育て世代を中心に、市民ニーズが高い施設重点公園を中心に計画的な遊具整備、施設の維持補修を行い、市民に利用される、満足度の高い公園に改修します。



R5予算
5,437万円

- ◆展望台・遊具設置工事、遊具修繕工事
- ◆多目的広場にトイレ設置
- ◆資料館改修工事

次代を切り拓く力を育む新たな学校づくり



子どもたちの「次代を切り拓く力」を育むため、市立小中学校10校を、小学校と中学校を合わせた9年間の連続した学びや育ちを行うことができる義務教育学校2校に再編します。

◎学校再編事業

子どもたちが楽しい学校生活を送り、「次代を切り拓く力」を育てていくため、みんなで子どもを育てる「共育」を実現する「みんなの学校」を目指し、小学校と中学校が一緒になった「義務教育学校」を整備します。

目指す学校像

5つの基本方針

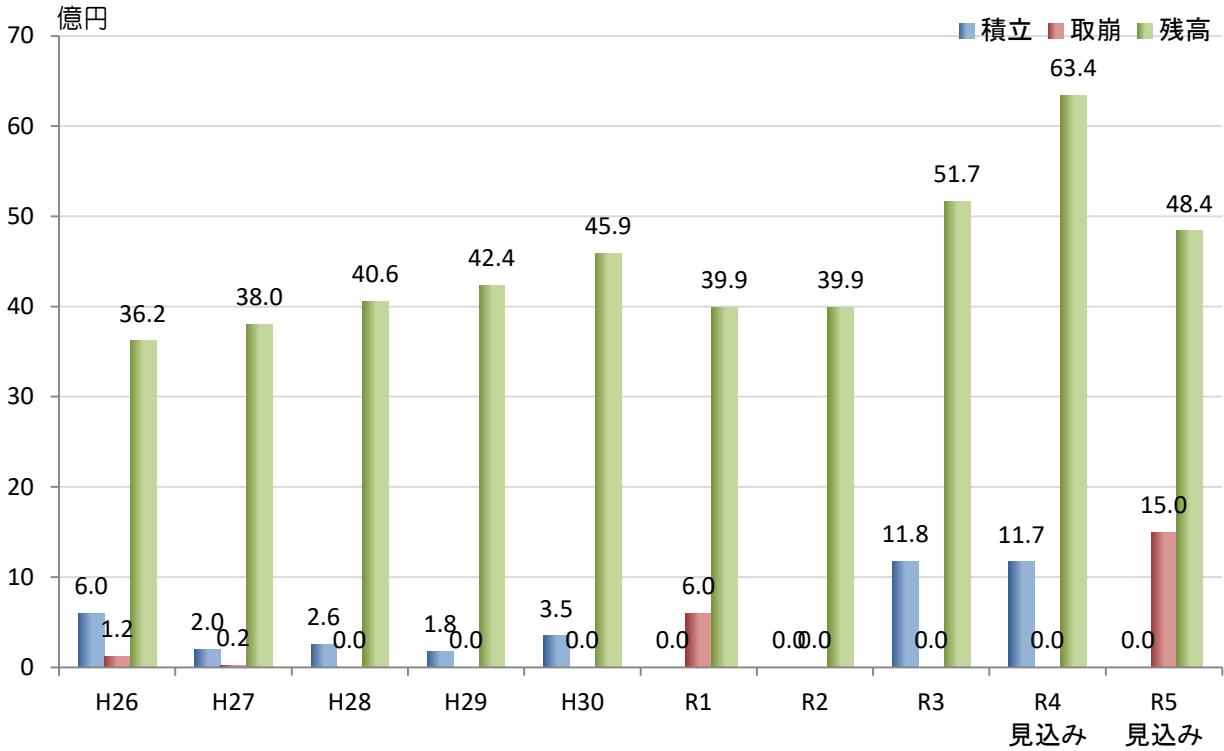
- すべての子どもが主役の学校
- 「次代を切り拓く力」を育む学校
- 安心・安全な学校
- 地域の未来を担う子どもを育てる学校
- 働きやすく充実した指導ができる学校



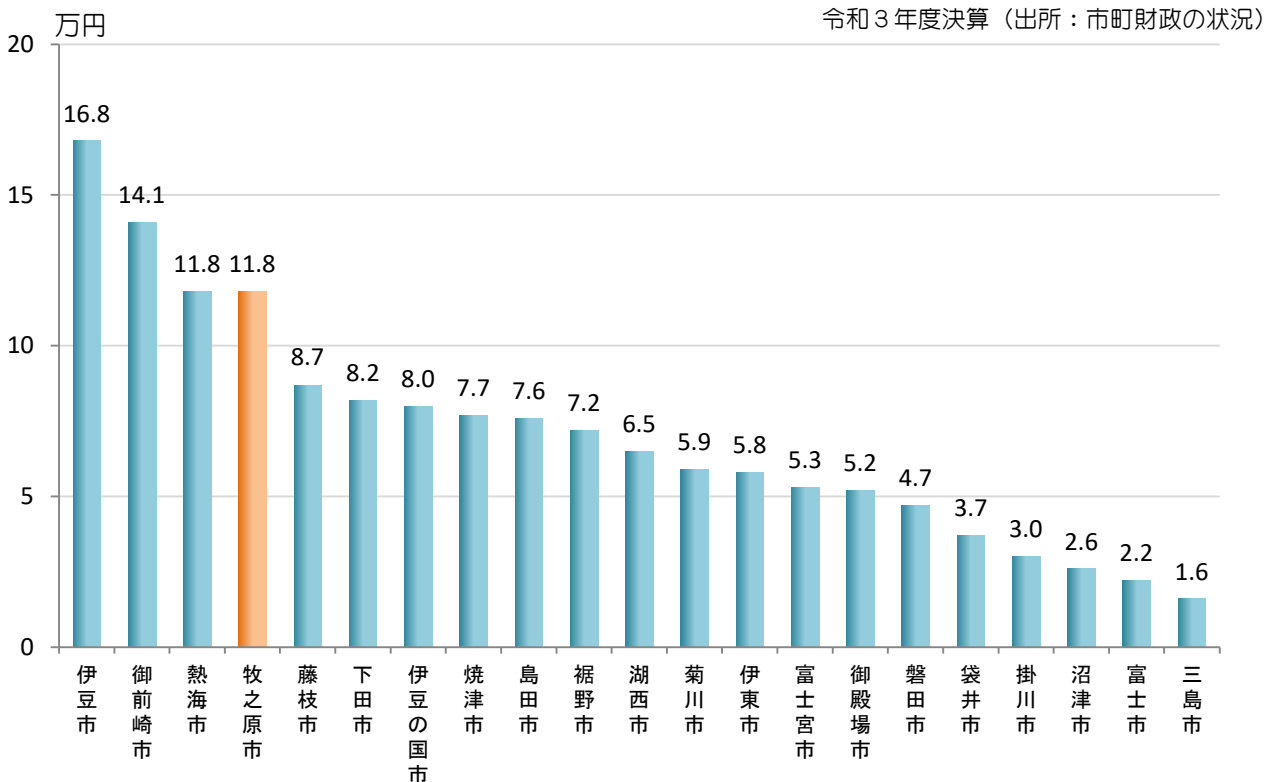
牧之原市の貯金は？

財政調整基金と
減債基金の合計額

基金残高などの推移



市民1人あたりの基金残高 (県内21市の比較) 政令市を除く

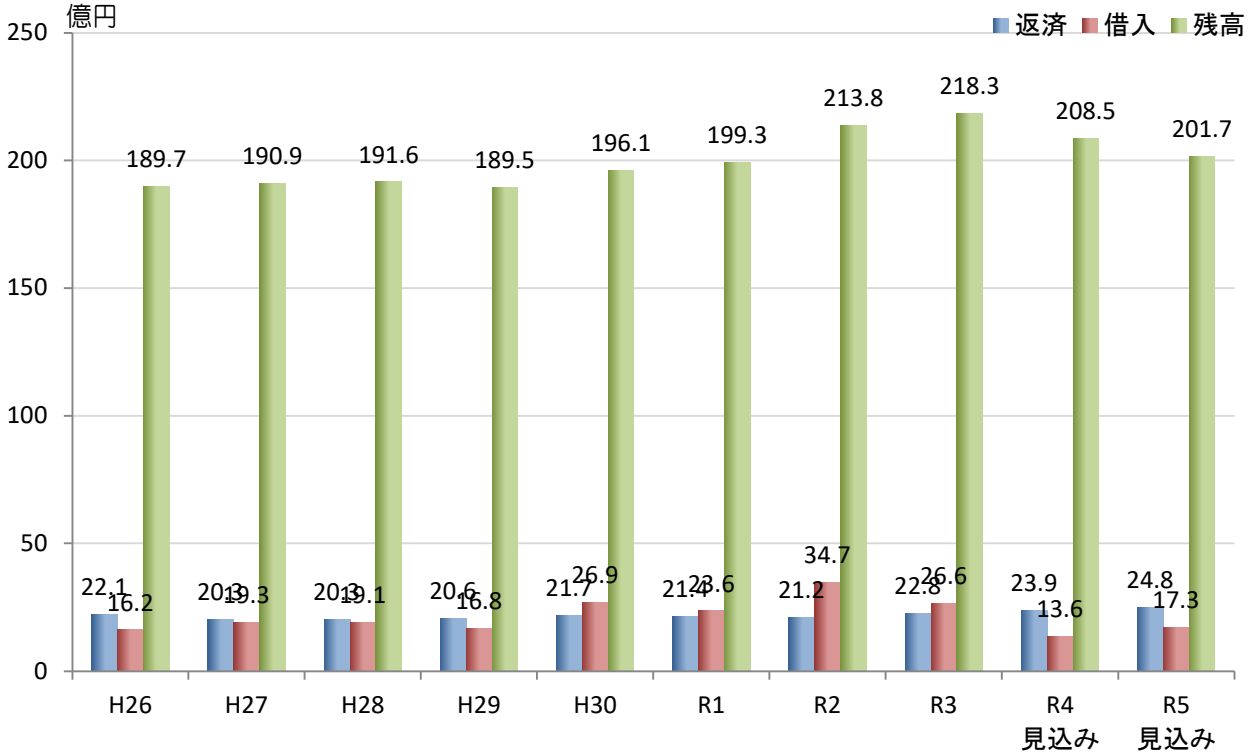


牧之原市の借金は？

普通会計

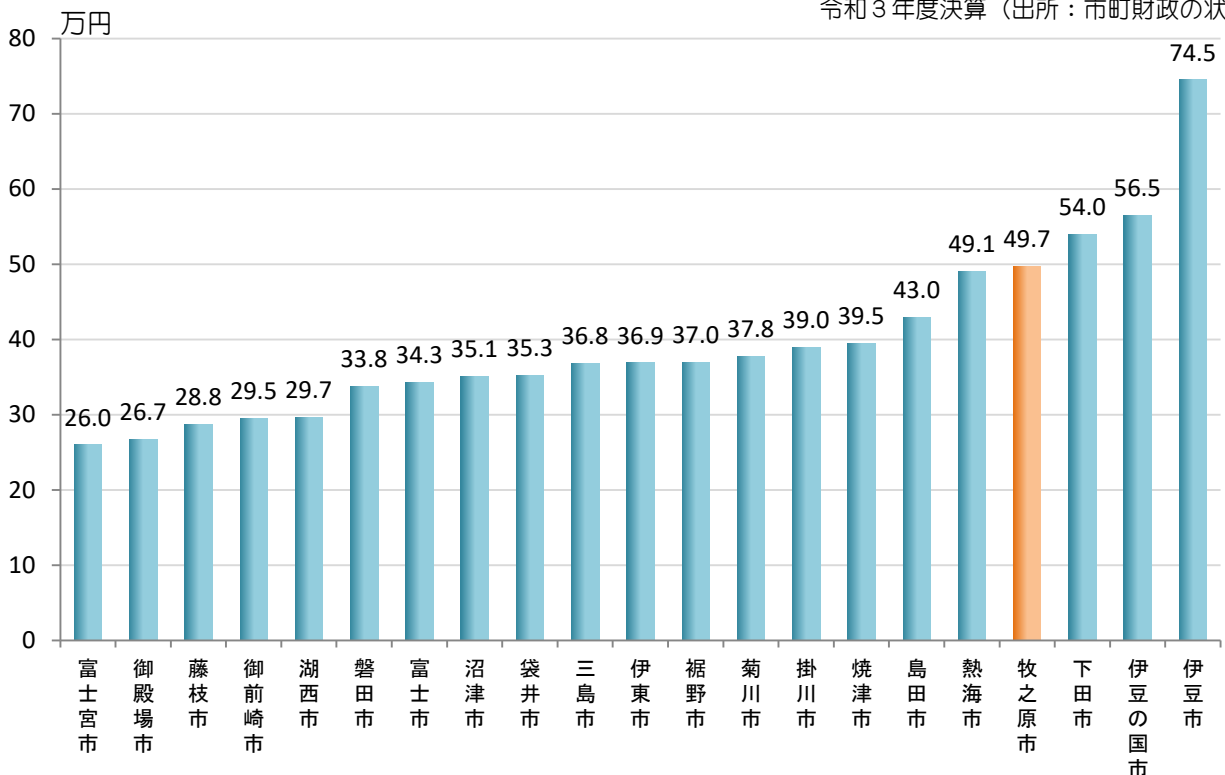


市債残高などの推移



市民1人あたりの市債残高 (県内21市の比較) 政令市を除く

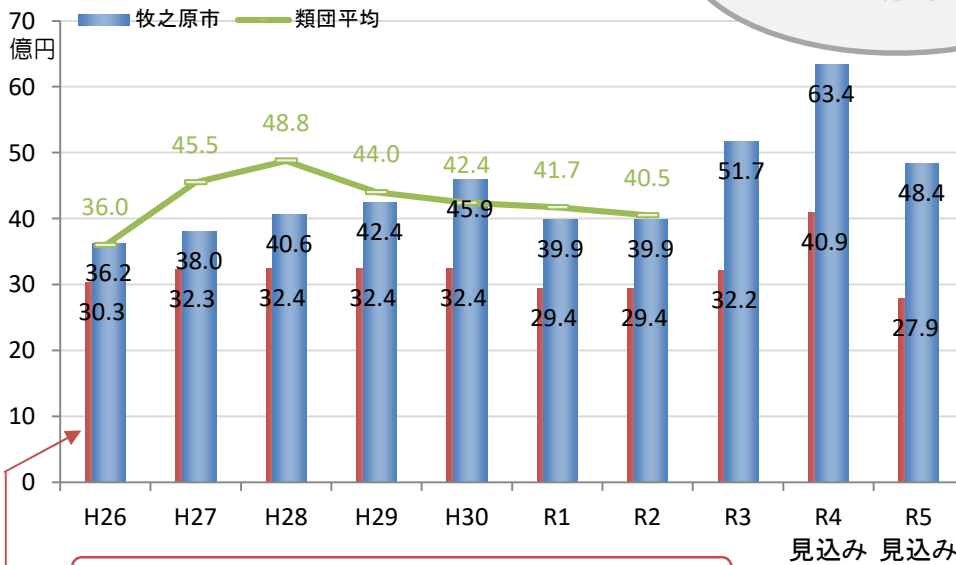
令和3年度決算 (出所: 市町財政の状況)



貯金と借金の目標額は？

基金残高の類似団体比較

類似団体の平均値を
目指します。
40億円以上

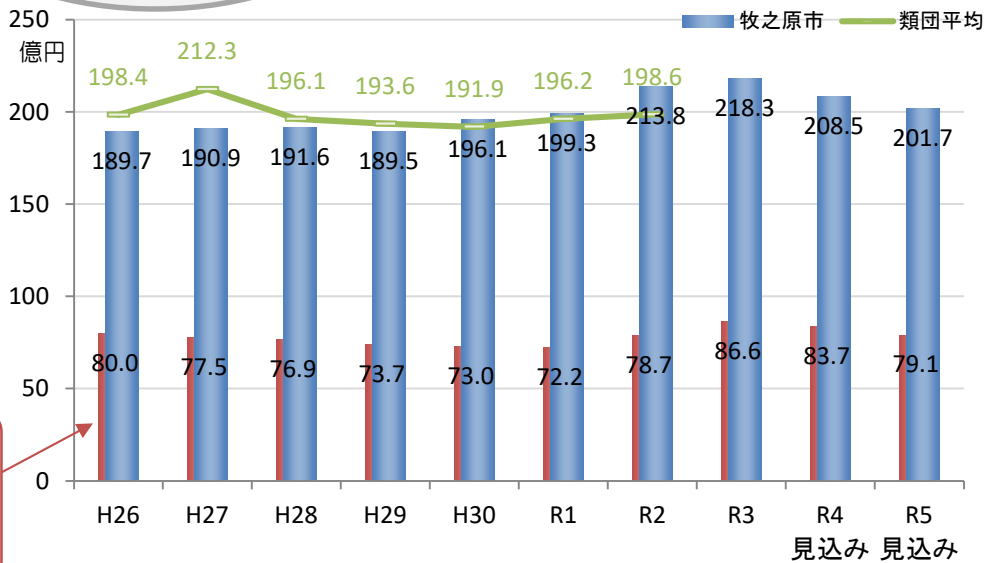


基金残高のうち7割程（直近は6割）は、財政調整基金という貯金で、年度間の不均衡を調整するために使われます。

市債残高の類似団体比較

類似団体の平均値を
目指します。
200億円以下

類似団体は、全国の市町村を「人口」と「産業構造」の割合で類型化したものです。
牧之原市は、人口5万人未満の都市のうち、第2次産業及び第3次産業を合わせた就業人口比率が90%未満で、かつ第3次産業就業人口比率が55%未満に区分され、全国で35団体あります。



市債残高のうち4割程は、臨時財政対策債という借金で、その国の収入が不足しているため、地方が借り入れています。

わかりやすい当初予算参考資料



令和5年3月

静岡県牧之原市